

平成20年度予算見積の概要

平成19年11月

森 林 部

平成20年度 森林部主要施策の概要

単位：千円

()内は、19年度当初予算額

1 多面的な機能を発揮できる多様で健全な森づくり

森林には、木材生産の場であると同時に、水源のかん養や地球温暖化の防止といった公益的な機能、あるいは県民への安らぎの提供など、様々な役割が期待されています。

その森林が安定的に木材を供給し、多面的な機能を持続的に発揮していくため、それぞれの森林の期待される役割に応じたゾーニングに基づく適正な森林の管理や作業道などの基盤整備、荒廃森林の改善と発生防止、山地災害の早期復旧などの取り組みを進めます。

(1) 健全な森林の整備

造林事業 1,194,456(1,274,737)

木材生産や保水、土砂流出防止など森林の多面的機能が持続的に発揮されるよう、その重視する機能に応じた森林整備を促進するため、ゾーニングに対応した森林所有者等による間伐などの施業を、国の補助制度を活用し支援する。

【森林の区分と整備】

- ・ 水土保全林：国土保全、水源かん養機能等を高度に発揮する森林整備
- ・ 資源の循環利用林：効率的・持続的な木材生産を目的とする森林整備
- ・ 森林と人との共生林：森林空間の利用や森林生態系の保全を重視した森林整備

みどりの環境整備支援事業

みどりの環境整備支援事業 110,000()

CO2吸収効果の高い若齢林(~ 齢級)における切捨間伐を促進することで、荒廃森林の発生を抑制し、森林の持つ公益的機能が効果的に発揮されるよう定額を補助する。

ふるさとの森整備事業 20,000(26,047)

水土保全林(保全型)に位置付けられ、造林事業の補助対象とならない森林において、針広混交林を目的とした強度間伐に要する経費に対して補助する。

森林整備地域活動支援事業 237,909(291,884)

適切な森林の整備を通じて森林の有する多面的な機能の発揮を図るため、森林所有者等が森林を集約化する際に必要となる情報を収集する活動や、施業を適切に実施するために必要となる施業区域の明確化などに対して支援を行う。

治山事業 4,030,135(4,069,863)
台風や豪雨による山地災害を早期に復旧するとともに、崩壊等が発生するおそれのある森林については、機能回復に向けた本数調整伐等の森林整備を推進する。

災害復旧事業 214,431(182,554)
台風や豪雨により被災した治山・林道施設の機能を早期に回復するため、復旧整備を実施する。

2 木材の積極的な利用と木の産業づくり

成熟期に入りつつある森林資源を有効に活用し、林業・木材産業の再生と自立できる森林経営の実現を目指して、木の産業づくりに積極的に取り組みます。

そのため、木材を安定的に供給していく「新生産システム」の構築に向けて、いわゆる川上では、重点的に路網など産業基盤を整備する「森の工場」づくりを推進し、低い材価の下でも持続的な木材生産ができる効率的な生産体制づくりや担い手の確保・育成に取り組みます。また、川下では、木材の需要の変化に対応できる加工・流通などの体制づくりを進めるとともに、特に、木材需要のうち大きなウエイトを占める木造住宅の建築促進に力点をおいた取り組みを進めます。

併せて、住宅や公共工事はもとより、バイオマスエネルギーとしての活用なども含め、県民の日常生活や産業活動等のあらゆる場面で県産の木材が積極的に利用されるよう、取り組みを進めます。

(1) 担い手の確保・育成

人づくり推進事業

26,300(26,207)

高齢化や減少の著しい担い手の対策として、技術レベルや就業状況に応じたきめ細かな研修を実施するとともに、基幹林業労働者養成研修に研修生を派遣した事業者への支援、新卒者や異業種からの新規参入の促進、また、労働災害防止に向けた研修会の実施など、将来の地域林業を担う人づくりを総合的に推進する。

県営林活用雇用創出事業

106,575(-)

県営林を活用して雇用機会を創出するとともに、担い手の育成と将来の県営林での間伐等による増産及び新生産システムに向けた木材供給に取り組む。

森の腕たち育成事業

250,751(172,633)

「森の工場」の形成に必要な森林の集約化や計画的な作業道の開設、機械化による基盤整備に対する取り組みと併せ、効率的な間伐材の生産などの総合的なOJTを実施する意欲ある林業事業者が、新規就業者や生産性の高い生産システム業務の経験のない者に対し、将来の基幹的な技術者となるように育成することを支援する。

山村林業者支援事業(新規)

92,800(-)

中山間地域等において、森林の持つ公益的機能の維持増進を図るとともに、小面積でも山仕事を続ける意欲のある森林所有者や新規参入者の育成並びに雇用の確保のための森林整備等に支援する。

(2) 森の工場づくりの推進

森林整備推進事業 398,996(168,372)

間伐等の森林整備を効果的に進めるために必要となる高性能林業機械の整備等や、森林所有者による整備が進まずに放置された森林を、適切な状態に保つために必要な間伐等の施業を推進するため支援する。

森の工場導入モデル事業(新規) 32,734()

意欲のある林業事業者や林業新規参入事業者等が行う森の工場づくりの足がかりとなる小規模木材生産団地の施業・経営集約化や木材生産コスト低減など林業経営改善のための取り組みを支援する。

森の腕たち育成事業(再掲) 250,751(172,633)

(3) 木材の安定供給体制の整備

林業・木材産業構造改革事業 104,842(69,662)

生産の効率化、加工・流通コストの低減など競争力のある産地づくりへ向けた木材産業の構造改革を進めるため、木材加工流通施設の整備等を支援する。

地域林業総合支援事業 15,571(14,533)

森林資源を適正に管理し有効に活用するため、市町村が主体的に実施する林業生産活動や担い手育成など、森林・林業を核とした地域振興の取り組みを総合的に支援する。

林道事業 2,783,638(2,884,369)

効率的な林業経営や森林の適正な整備を推進するため、その基盤となる計画的な路網の整備を図る。

(4) 県産材の利用と販売体制の強化

県産材利用推進事業 23,470(27,820)

「木に親しむ」・「木を活かす」活動の一環として、県民が日常生活の中で身近に木と触れ合う機会の創出や、木の良さを体感していただくため、県産の木材を積極的に活用した取り組みを推進する。

販売活動促進事業 2,593(3,175)

木材の販路拡大を図るため、消費地での流通拠点づくりや新規の需要拡大のための商談会の開催などへ支援する。

木造住宅総合推進事業

こうち安心の木の住まいづくり助成事業 54,096(54,149)

県産の乾燥材を使用し、県の地域木造住宅基準・高耐震住宅基準に適合した良質で長持ちする木造住宅に助成することで、木材の需要拡大を図るとともに南海地震に備える。

こうちの木の家普及推進事業

2,500(5,000)

木や木の住まいの魅力を消費者に幅広くPRし、木造住宅の建築を促進するため、高知県木材普及推進協会の行う情報発信に関する事業に対し助成を行う。

3 森を知り、木に親しむ暮らしづくり

森林や木の良さと大切さを多くの人に知っていただき、県民参加による健全な森づくりや、木材の積極的な活用に参加していただけるよう、森を知り木に触れる場づくりや、情報提供などの取り組みを進めます。

また、森林を健全な形で育てていくために、県民や企業などの主体的な参加を求めながら、役割分担とパートナーシップによる森づくりを進めます。

(1) 森に学び木に触れる取り組みの促進

県民参加の森づくり推進事業

森づくりへの理解と参加を促す広報事業 5,241(8,171)

多様な媒体により、県民に対し幅広く、森林・林業の現状と森林の持つ役割の重要性について理解を求め、県産材の利用など一人ひとりの行動が健全な森づくりに繋がることを分かりやすくPRする。

こうち山の日推進事業 7,412(11,032)

県民参加の森林保全活動を推進するため、「こうち山の日」を推進し、県民の理解と関心を深めるための県民の発案による森林保全等の企画提案事業などを支援する。

山の学習総合支援事業 10,336(21,995)

人と木の共生を基本理念とした「木の文化県構想」や「こうち山の日」の活動の一環として「木の文化」を身につけ、活動できる人材を養成するとともに、木や森に関わる人々の技術や伝統を伝えていくため、次代を担う子ども達への体験学習の支援を行う。

生き生きこうちの森づくり推進事業 4,000(12,000)

県民生活に身近な場所で森林と人とがふれ合う森林を地域が一体となって整備、管理、活用していく取り組みを支援する。

森林保全ボランティア活動推進事業 4,860(5,850)

森林整備を实践する森林ボランティア団体の設立に際して、間伐用機械器具を支給するとともに、団体の間伐活動等を市町村と連携して地域通貨を交付することにより支援し、県民参加による森林整備を促進する。

(2) 森や木のものを使う取り組みの促進

県産材利用推進事業のうち木づかい促進事業(再掲)

木づかい促進事業 8,000(7,000)

「木に親しむ」活動の一環として、県民が日常生活の中で身近に木とふれあう機会の創出と木の良さを体感し、木への関心や興味を深めるための県産材を利用した取り組みを支援する。

間伐材利活用推進事業（新規）

12,000(-)

「木を活かす」活動の一環として、間伐材を有効に活用するための県民からの企画や開発などの提案事業に対して支援する。

地域林業総合支援事業（再掲）

15,571(14,533)